

# 視覚障害者が被害者となる交通事故

- 10月3日、徳島市にて盲導犬を連れた視覚障害者が後退中のトラックにはねられて死亡する事故が発生。トラックに装備されていた後退時に注意を促すブザーのスイッチは切られていた。
- 電気自動車やハイブリッド自動車など、「静かな車」の危険性が視覚障害者等から指摘されている。

## 事故の概要

(※詳細は警察が調査中)

○日時 : 10月3日 午前8時2分頃

○場所 : 徳島県徳島市新浜町1の市道

○状況 :

- 被害者が盲導犬を連れて、歩道のない道を歩いていたところ、道路から資材置き場に入ろうとした後退中のトラックにはねられ、被害者・盲導犬が死亡。
- トラックの運転手が、後方の安全確認を怠ったことに加えて、トラックには、バック時に警報音を鳴らす装置が設置されていたが、いつも電源が切られていて鳴らない状態だった模様。

○被害者 : 盲導犬を連れた男性(全盲)

○事故車両 : いすゞ製2トンダンプ(自家用)



(徳島県資料より)

## 「静かな車」

- 視覚障害者は、「音」をたよりに、車の位置や動きを認識するが、モーターで駆動する電気自動車やハイブリッド自動車は、エンジン音がしないため、車の接近に気付くことができない。
- 視覚障害者以外の歩行者も、後方から接近する「静かな車」の接近に気付かないことがある。